

社会貢献は経営理念

20周年と代表褒章祝う

新教育総合研究会

学習塾「京大個別指導学院」と「個別指導キャンパス」を近畿圏に展開する、新教育総合研究会（福盛訓之代表、北区東天満）は11日、同社の創立20周年と福盛代表の紺綬褒章受章を記念して祝賀会を開いた。

祝福に駆けつけた約250人の関係者を前に、福盛代表は「教育産業という仕事から、社会貢献は経営理念でもある」と語り、決意を新たにしていた。また、祝賀会では福島県の学習塾、ベスト学院の碓井裕章社長が感謝の言葉を述べた。

福盛代表は19歳で起業した。3年後に生徒数を250人まで増やした。30歳で近畿圏に拡大。現在では、160教室、8千人以上の生徒を抱えるまでに成長した。

規模拡大とともに社会貢献に尽力。収益の一部を活用して、教育施設や教育基金への寄付、東日本大震災被災者支援活動などを行った。

こうした社会貢献活動が評価され、紺綬褒章のほか、東久邇宮記念賞や東久邇宮文化褒章を続けて受賞した。

（上部武宏）



社会貢献は経営理念 20周年と代表褒章祝う

学習塾「京大個別指導学院」と「個別指導キャンパス」を近畿圏に展開する、新教育総合研究会（福盛訓之代表、北区東天満）は11日、同社の創立20周年と福盛代表の紺綬褒章受章を記念して祝賀会を開いた。祝福に駆けつけた約250人の関係者を前に、福盛代表は「教育産業という仕事から、社会貢献は経営理念でもある」と語り、決意を新たにしていた。また、祝賀会では福島県の学習塾、ベスト学院の碓井裕章社長が感謝の言葉を述べた。福盛代表は19歳で起業した。3年後に生徒数を250人まで増やし、30歳で近畿圏に拡大。現在では、160教室、8千人以上の生徒を抱えるまでに成長した。規模拡大とともに社会貢献に尽力。収益の一部を活用して、教育施設や教育基金への寄付、東日本大震災被災者支援活動などを行ってきた。被災地では、被害により内定取り消しを余儀なくされた現地学習塾の社員を特別雇用。さらに、無償で学習指導の応援に駆け付けるなど積極的に支援した。こうした社会貢献活動が評価され、紺綬褒章のほか、東久邇宮記念賞や東久邇宮文化褒章を続けて受賞した。

新教育総合研究会の創立20周年と紺綬褒章受章記念祝賀会で「社会貢献は経営理念」と述べる福盛代表